

# 魚類防疫支援事業

高橋 進吾、松田 忍、牛崎 圭輔、鳴海 一侑、沢目 司

## 目 的

健全で安全な養殖魚や種苗の生産を図るため、魚病の診断、防疫・養殖衛生管理・飼育に関する指導、専門的な知識を持つ技術者の育成を行う。

## 材料と方法

### 1. 魚病診断

内水面養殖業者や海産魚類増養殖場等から検査依頼があった検体について、定法により魚病診断検査を行った。

### 2. 防疫・養殖衛生管理・飼育に関する指導

県内の増養殖場を対象に行った。

### 3. 技術者の育成

魚類防疫士を育成するため、株式会社エスアイ総合研究所が開催する養殖衛生管理技術者養成研修を受講した。

## 結 果

### 1. 魚病診断

2022年1～12月における魚病相談は、内水面8件、海面3件の合計11件があり、魚病診断検査を行った(表1)。検査方法は、外部観察、解剖を基に推定診断を行い、必要に応じて菌分離検査、ウイルス検査を行い確定診断とした。

内水面魚種では4魚種から4種類の疾病、海面魚種では2魚種から2種類の疾病が確認され、サケ稚魚の相談が多かった(表2～3)。

### 2. 防疫・養殖衛生管理・飼育に関する指導

県内24ヶ所の増養殖場で、防疫・養殖衛生管理・飼育に関する状況を確認し、必要な指導を行った。

### 3. 技術者の育成

養殖衛生管理技術者養成研修のうち本科基礎コースを水産総合研究所職員1名と内水面研究所職員1名が、本科実習コースを内水面研究所職員1名が受講した。

## 考 察

引き続き魚類防疫に関する情報提供及び魚病の発生防止、被害軽減に努める。

表 1. 魚病検査の実施状況

(令和4年1月～12月)

○内水面						
年月日	魚病名	魚種	平均体重	病魚の特徴	参考となる事項	処 置
R04.01	水腫症	サケ	0.6g	腹部腹水、眼球突出等		1%塩水浴2時間(3日)
R04.02	水腫症	サケ	0.5g	さいのう水膨れ状	(停電で注水1時間止まる事故)	放流
R04.03	トリコジナ症	サケ	1.3g	ピンヘッド気味、動き鈍い		放流
R04.04	トリコジナ症	ヤマメ	2.0g	体を壁面に擦る 体表にトリコジナ		食酢浴
R04.04	トリコジナ症	サケ	1.0g	動き鈍い、摂餌不良 体表にトリコジナ		食酢浴
R04.05	不明	ニジマス	11～45g	尾柄部欠損 肝臓貧血個体あり	(事前に塩水浴実施も治まらない)	
R04.11	鰓病	イトウ	1.3g	鰓の発赤が多い		3%塩水浴3分・餌止を複数回、適宜分散収容、飼育水の曝気
	ガス病		28～873g	体表・鰓が発赤、体表に気泡		
R04.12	不明	サケ	0.3g	体色黒化(頭部・尾柄部) 体表に水生菌着生	冷水病:陰性 (道移入卵)	

○海面

年月日	魚病名	魚種	平均体重	病魚の特徴	参考となる事項	処 置
R04.01	トリコジナ症	マツカワ	50～100g	体表・鰓等への寄生が多い		かん水率アップ
R04.03	滑走細菌症	ウスメバル	20g	脱鱗、体表に長桿菌		収容密度の低下
R04.04	不明	ニジマス	1.7～3.0kg	鰓に粘膜多い 肝臓貧血個体あり		

表 2. 魚種別疾病別診断件数

(令和4年1月～12月)

疾病名	魚種名	内水面				海面		合計
		ニジマス	イトウ	ヤマメ	サケ	マツカワ	ウスメバル	
鰓病+ガス病			1					1
トリコジナ症				1	2	1		4
水腫症					2			2
滑走細菌症							1	1
不明		2			1			3
計		2	1	1	5	1	1	11

表 3. 魚種別月別診断件数

(2022年1月～12月)

魚種名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
ニジマス				1	1								2
イトウ											1		1
ヤマメ				1									1
サケ	1	1	1	1								1	5
マツカワ	1												1
ウスメバル			1										1
計	2	1	2	3	1	0	0	0	0	0	1	1	11